



明日に架ける橋

進路だより 第2号
2024/5/29
兵庫県立明石高等学校
進路指導部発行

定期考査の検証は？

中間考査の結果はどうだったでしょうか。高校の勉強には一夜漬けは効きません。平日頃の学習に臨む姿勢・態度が結果に出ます。順調に得点を取れた人は、今の勉強方法をそのまま続けていきましょう。

定期考査でしっかり点数を取れた人は、次の2点ができている人です。

- 1, 予習をしっかりと、授業に臨む。
- 2, 授業に集中して、先生の喋ったことを聞き漏らさず、ノートに書いている。

逆に点数の取れていない人は、この2つができていたかどうか、自己検証してみてください。授業中の集中力がない人、居眠りをする人、頭を働かせていない人が、定期考査で高得点を取るのは無理です。当たり前なことを、当たり前に行ってみましょう。

また定期考査のやり直し(復習)、俗に言う間違い直しは、とても大切です。次に同じ問題を解いた時に満点を取れるまで、テストの復習を徹底してください。必ず、大学入試対応ができる学力がつきます。

間もなく『進路の手びき』が配られます。今春卒業した先輩方で、見事志望校に進学した人の合格体験記をぜひ読んでください。授業の大切さ、予習の大切さが判るはず。期末考査に向けて、早速、授業の予習、集中力を実践して、学力を習得してください。

明石高校の生徒の志望が多い、近隣の大学も100点満点は必要ありません。例えば2023年度入試(2024年度データは各大学のホームページに上がっているところもあります)の主な大学の前期一般入試(2月上旬・最も受験生が多い)の合格最低点(得点率)は以下の通りです。

関西学院大学	法学部	54,9%	経済学部	58,8%	理学部	54,4%
関西大学	商学部	61,6%	経済学部	60,8%	化学生命工学部	59,7%
甲南大学	法学部	57,4%	経済学部	61,0%	理工学部	49,7%
近畿大学	法学部	63,2%	経済学部	59,2%	理工学部	54,6%

「関学の入試問題は難しい！」とよく言われますが、60%を取れば合格します。難しい誰もできない問題は気にしないで、授業・定期テストで学んだことをマスターすれば、難関校でも合格ラインに届きます。

「基本に忠実に！」スポーツでも、芸術でも、勉強でも、すべて同じですよ。

模擬試験の活用と、受験の勧め

23日(木)～25日(土)、3年生がベネッセ大学入学共通テスト模試を受験しました。模擬試験の活用方法は、定期考査と同じです。間違えた問題、解けなかった問題を、徹底的に復習しましょう。試験後に解答が渡されて自己採点をしますが、正解した、間違えただけの一喜一憂はナンセンスです。その解説をよく読んで、その問題に関する学力・知識を身に付けましょう。

1学期の校内模試は、次の通りです。

3年生	7月5日(金)・6日(土)	ベネッセ総合学力記述模試
1・2年生	7月10日(水)	ベネッセ総合学力テスト

また、ベネッセ主催以外の模擬試験が、校外(公開会場)で頻繁に行われます。模擬試験は

回数を受けるほど、実践問題に慣れ、復習をすることで実力が付きます。さらに、公開会場は大学のキャンパスで実施されることが多く、大学の雰囲気も知ることができ、入試本番のリハーサルにもなります。

多くの大学受験生が受ける全国最大の校外模試は、全統模試です。学校で受験するベネッセ模試は現役生が中心ですが、全統模試は浪人生の大半が受験しますので、自分の実力、志望校の合格可能性などがよく判ります。

今年度の全統の主な公開模試日程は以下の通りです。この5回は、高校を通して申し込みをします。3年生は担任の先生から案内をしますので、申し込み漏れがないように気を付けてください。不明な点は、進路指導部まで尋ねに来てください。

3年生・既卒生対象

7月28日(日)	第2回全統共通テスト模試
8月25日(日)	第2回全統記述模試
10月6日(日)	第3回全統記述模試
10月20日(日)	第3回全統共通テスト模試
11月17日(日)	プレ共通テスト

*共通テスト模試と記述模試はドッキング判定があります。国公立大学の志望者はどちらも受験しましょう。

上記の他に、高1模試、高2模試も実施されています。また全統以外でも、東進ハイスクール、エール学園など多くの予備校系模試が行われています。実践問題に数多くあたり、力を付けるために、積極的な受験を勧めます。

看護・医療系大学や専門学校を志望している人は看護・医療系模試を受験して、問題に慣れ、今の自分の実力を知る必要があります。早い目に、数多く受験しましょう。

また公務員志望者や一般企業への就職希望者は、大学入試と違った問題に対応しなければなりません。公務員は既卒者や一般企業からの転職者も多く志願します。公開会場での公務員模試が多く実施されていますので、ぜひ受けて今後の公務員試験対策に活かしてください。一般企業志望者は、実務教育などが主催しているWeb高校就職模試を受験して、入社試験問題の傾向を知りましょう。

調査書の重要性

皆さんは調査書というものをご存じですね？ 高校受験の際も中学校の調査書を合否判定の重要書類として使いました。高校の調査書も、もちろん同じです。大学受験や就職試験の際に、出願書類として調査書は必要です。

学校推薦型選抜の指定校推薦は高校1年生から3年生までの評定平均値が選考において重要ですし、公募制推薦では評定平均値を点数化する大学も多いです。調査書には、各教科の評定の他、出欠の記録、部活動・生徒会の特別活動の記録、特筆すべき部活動の成績、授業への取り組み状況、など細かく記載されています。

では高校卒業後は、調査書を使うことはないのでしょうか。もし浪人すれば、当然出願時に調査書は必要です。大学に入学してからも、奨学金の申請には高校の調査書が必要です。調査書を発行できるのは卒業後5年間ですが、単位取得証明書は卒業後20年間発行できます。ちなみに卒業証明は永年発行可能です。

長い先に、新たに就職をする、大学や専門学校に入りなおす、などの際はこれらの書類が必要になってきます。今、しっかりと勉強をして、休まず授業に出て、部活動や生徒会活動を頑張る、ことが将来のためにも大切です。学習面で出遅れた人は、遅くはありませんので、成績を上げていけば大丈夫です。自分のために頑張りましょう。

